

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公開番号】特開2012-31413(P2012-31413A)

【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2011-183295(P2011-183295)

【国際特許分類】

C 0 8 G 64/26 (2006.01)

C 0 7 C 69/96 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 64/26

C 0 7 C 69/96 A

C 0 7 C 69/96 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月14日(2012.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

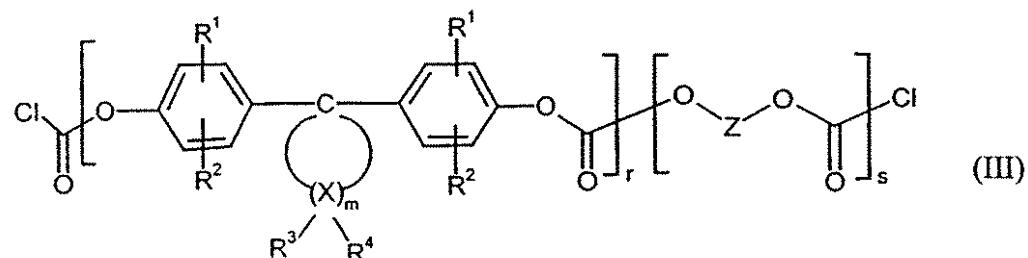
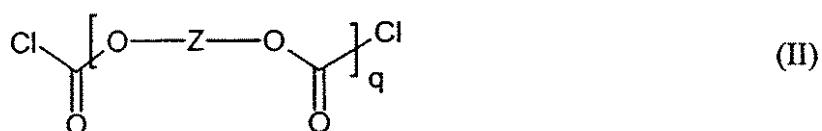
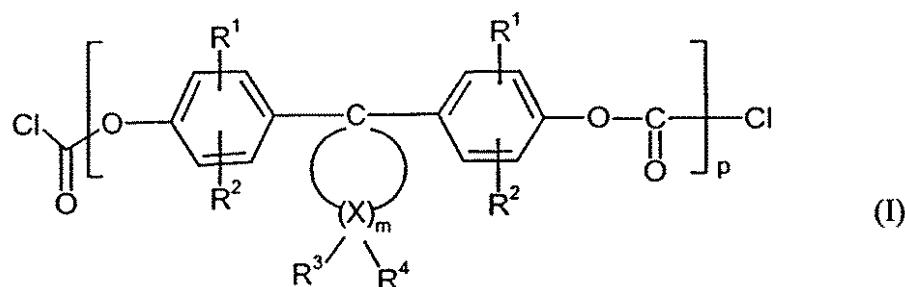
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)、(II)および(III)：

## 【化1】



(式中、

$R^1$  および  $R^2$  は、互いに独立して、水素、ハロゲン、 $C_1 \sim C_8$  - アルキル、 $C_5 \sim C_6$  - シクロアルキル、 $C_6 \sim C_{10}$  - アリールおよび $C_7 \sim C_{12}$  - アラルキルを表し、

$m$  は、4 ~ 7 の整数であり、

$R^3$  および  $R^4$  は、互いに独立して、水素または $C_1 \sim C_6$  - アルキルを表し、そして  $X$  は、炭素を表し、

ただし、式(I)または式(III)において、繰り返し単位1個につき、少なくとも1個の  $X$  原子において、 $R^3$  および  $R^4$  は、同時に、アルキルを表し、

$Z$  は、炭素原子6個 ~ 30個を有する芳香族基であり、

$p$ 、 $q$ 、 $r$  および  $s$  は、1 ~ 15の自然数を表し、そして、脂環式基で架橋されたビスフェノール単位：脂肪族基で架橋されたビスフェノール単位のモル比は、1 : 10 ~ 10 : 1である)

で表される、線形の統計的なコポリカーボネート (linear statistical copoly carbonate) を製造するためのビスクロロ炭酸エステルの混合物。

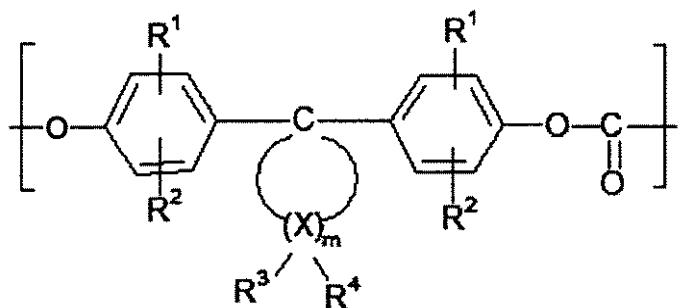
## 【請求項2】

前記ビスクロロ炭酸エステル(III)が、統計的に構成される、請求項1記載の混合物。

## 【請求項3】

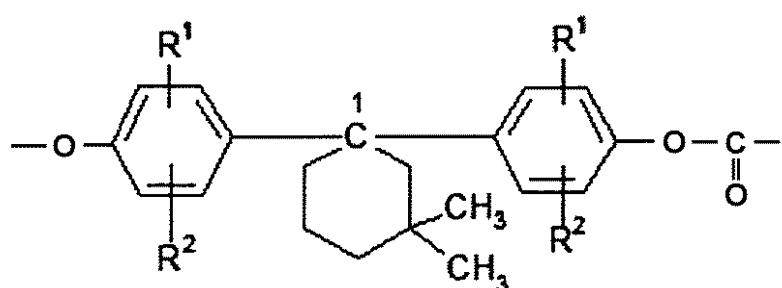
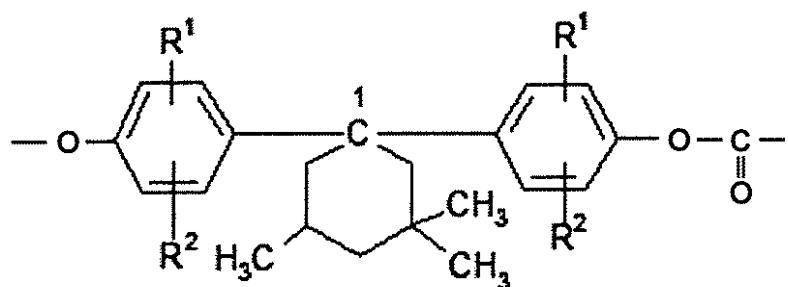
前記

【化 2】

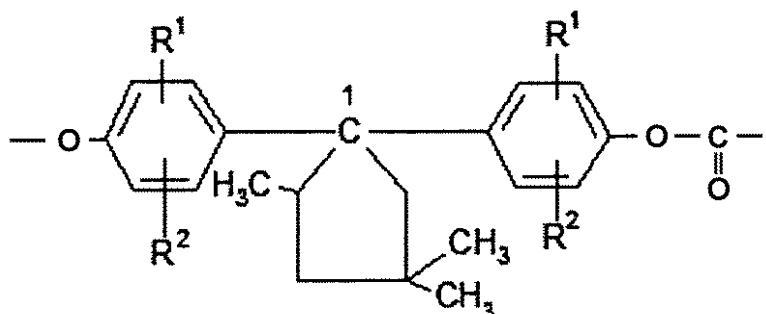


が、

【化 3】



または

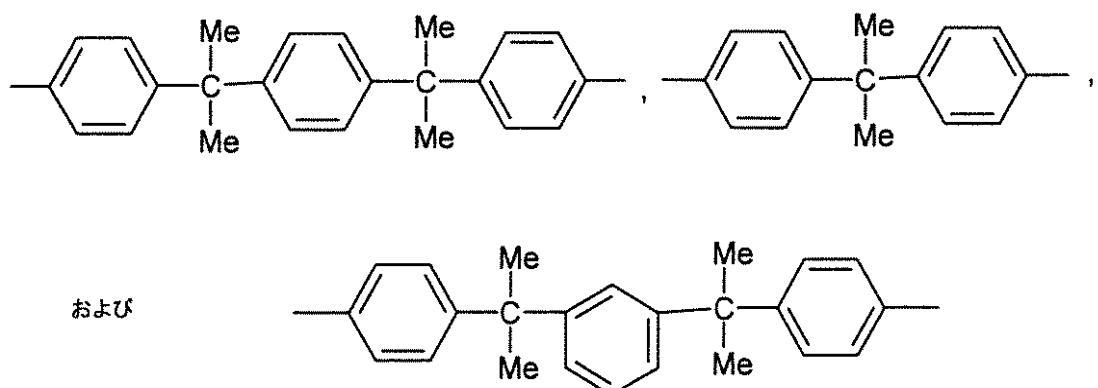


である、請求項 1 または 2 記載の混合物。

【請求項 4】

前記 Z が、

## 【化4】



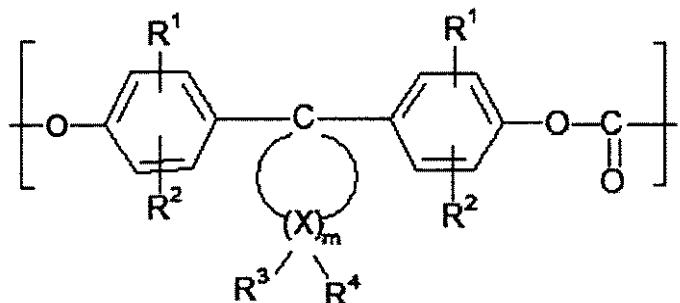
(式中、Meは、メチル基を表す)

からなる群から選択されるものである、請求項1または2記載の混合物。

## 【請求項5】

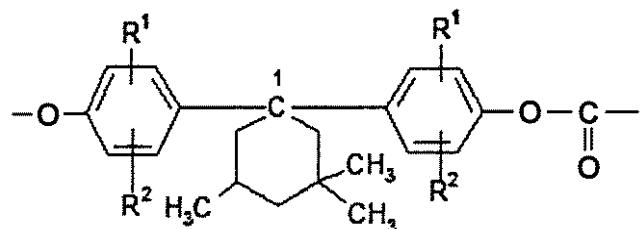
前記

## 【化5】



が、

## 【化6】



である、請求項1または2記載の混合物。

## 【請求項6】

前記R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>は、互いに独立して、塩素または臭素である、請求項1または2に記載の混合物。

## 【請求項7】

前記R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>は、互いに独立して、フェニル基である、請求項1または2に記載の混合物。

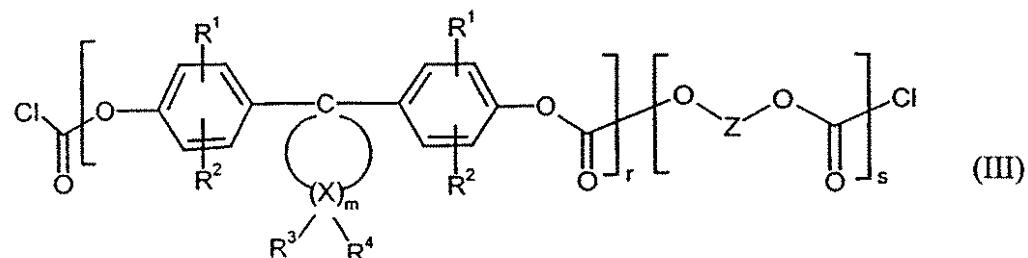
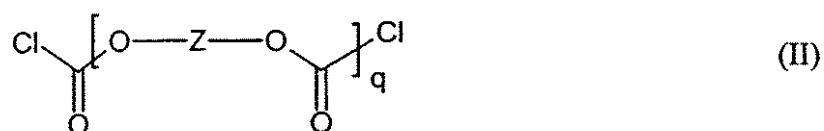
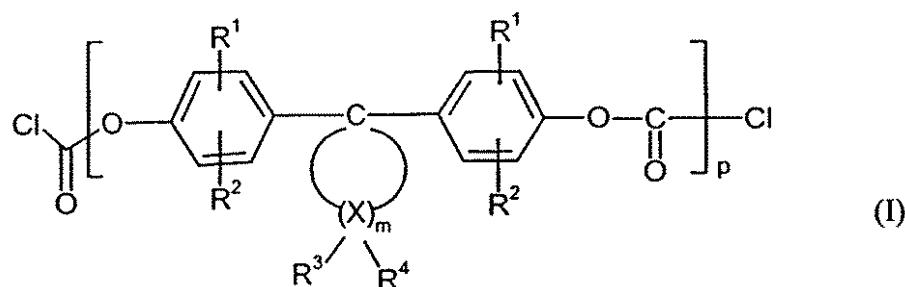
## 【請求項8】

前記整数が、4または5である、請求項1または2に記載の混合物。

## 【請求項9】

前記式(I)、(II)および(III)：

## 【化7】

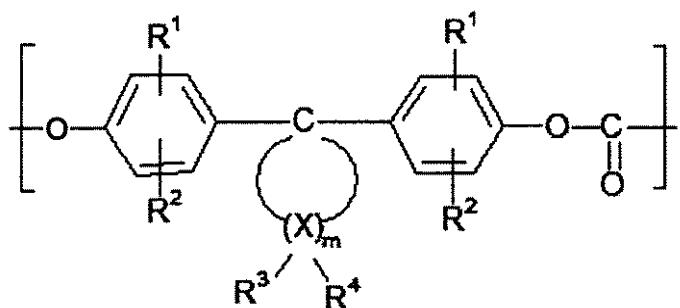


で表されるビスクロロ炭酸エステルの混合物を界面条件下で反応させることを包含する、線形の統計的なコポリカーボネート (linear statistical copolyly carbonate) の製造方法。

## 【請求項10】

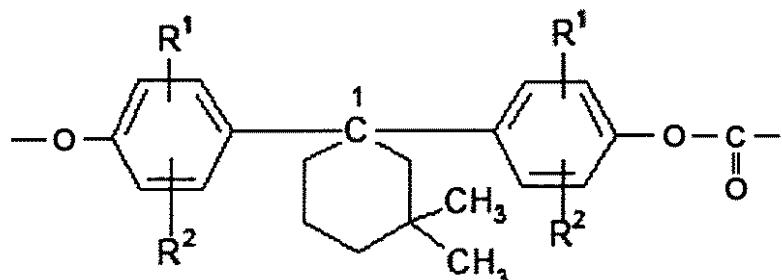
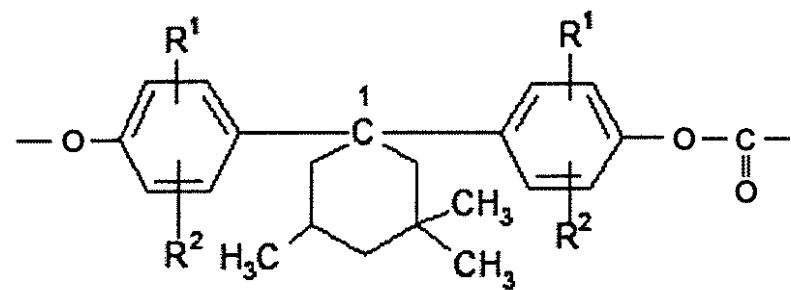
前記

## 【化8】

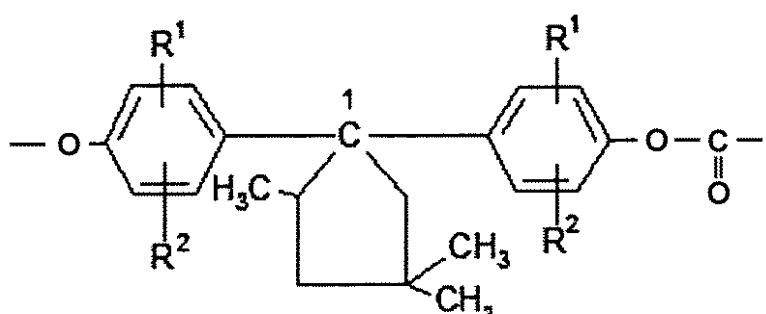


が、

【化9】



または

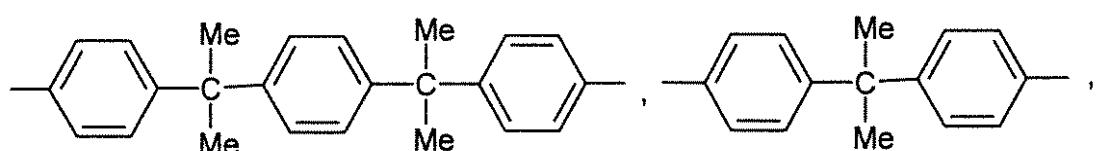


である、請求項9記載の方法。

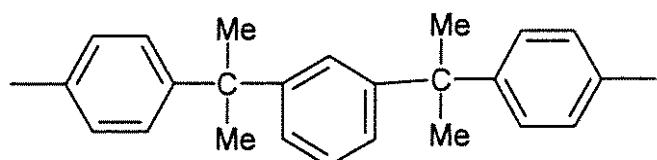
【請求項11】

前記Zが、

【化10】



および



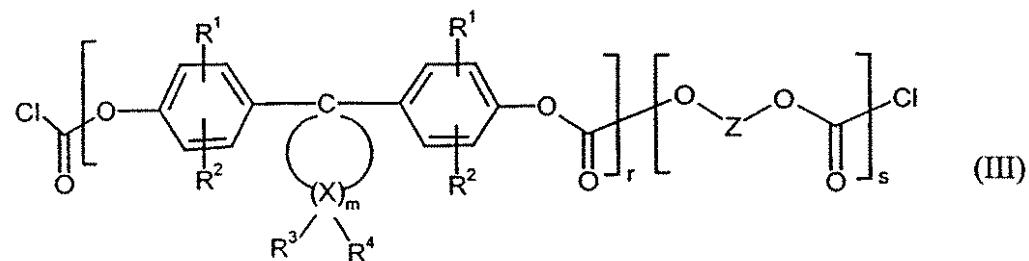
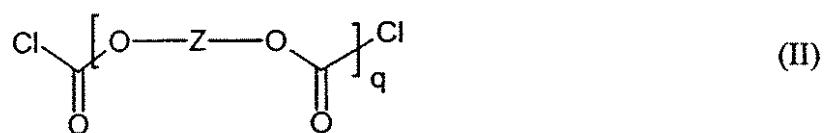
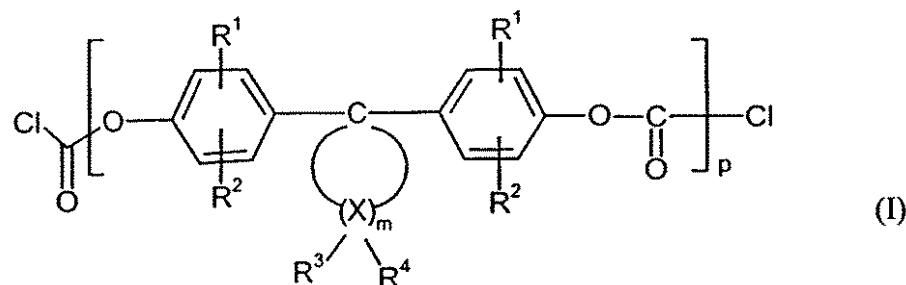
(式中、Meは、メチル基を表す)

からなる群から選択されるものである、請求項9または10記載の方法。

【請求項12】

前記式(I)、(II)および(III)：

【化11】

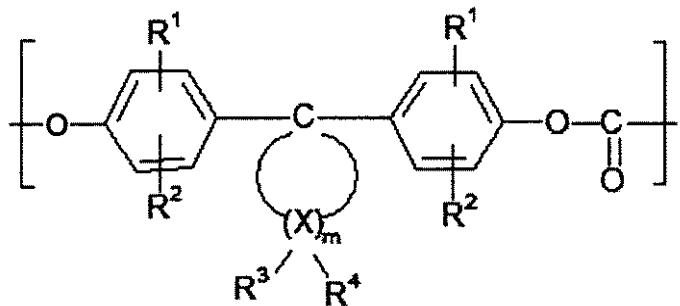


で表されるビスクロロ炭酸エステルの混合物を界面条件下で反応させることを包含する、環状コ-オリゴカーボネートの製造方法。

【請求項13】

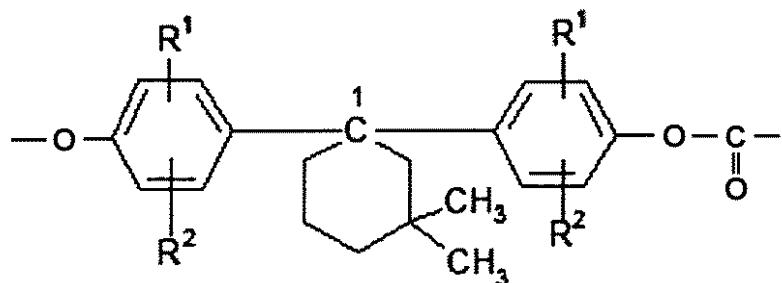
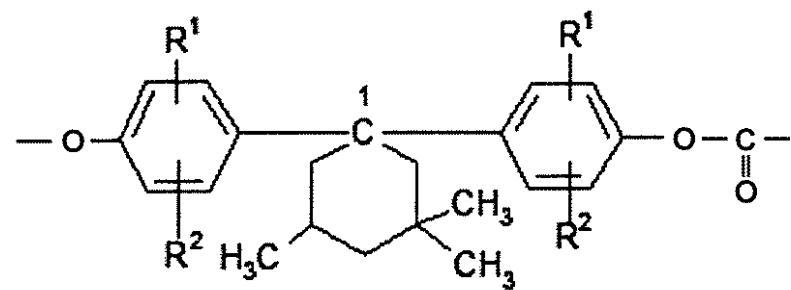
前記

【化12】

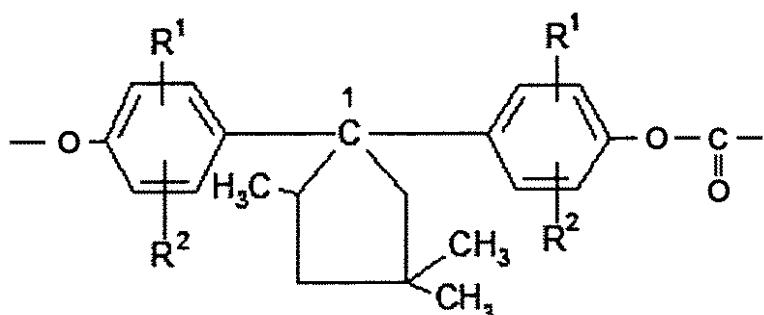


が、

【化13】



または

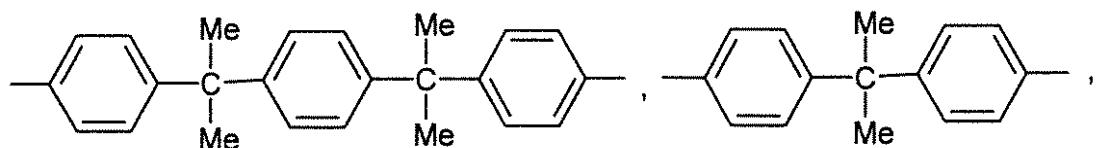


である、請求項1~2記載の方法。

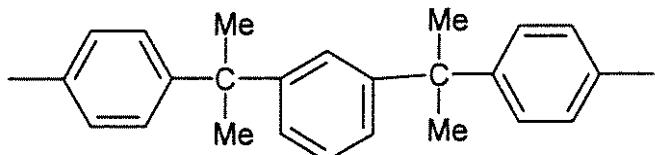
【請求項1~4】

前記Zが、

【化1~4】



および



(式中、Meは、メチル基を表す)

からなる群から選択されるものである、請求項1~2または1~3記載の方法。

【請求項1~5】

前記環状コ-オリゴカーボネートの合成をpHが7~13の値および温度が0~40

で実施する、請求項 1 1 または 1 2 に記載の方法。

**【請求項 1 6】**

前記環状コ - オリゴカーボネートの合成を pH が 9 ~ 11 の値および温度が 30 ~ 40 で実施する、請求項 1 1 または 1 2 に記載の方法。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0 0 1 0

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0 0 1 0】**

**【化 1】**

